

平成21年度 第10回 (1月) 理事会議事録

- 日 時 平成22年1月14日(木) 午後6時30分～8時00分
- 会 場 社団法人大阪府臨床検査技師会事務所
- 出席者 今井、運天、竹浦、吉本、高田、大垣、清水、
荒木、田畑、高橋、井戸田、出野、山田、宮野、
酒井、栗本、山西、小宮山、村上、事務(岩崎)
- 欠席者 東野
- 議 長 今井

【討議内容】

I 行動報告 (12月分)

- 12月1日 大阪府献血感謝のつどい
今井
- 1日 合同フォーラム打ち合わせ会議
今井、清水
- 3日 大阪市の松本氏と面談
今井
- 4日 日臨技選挙管理委員会
荒木
- 5日 日臨技選挙管理委員会
荒木
- 5日 日臨技主催エイズ啓発キャンペーン
今井、運天、竹浦、吉本、高田、大垣、
清水、荒木、田畑、
- 5日 中央支部自由集会
運天、田畑、栗本、
- 5日 手話講演会
今井、竹浦、吉本、清水、大垣
- 9日 近臨技会長会議
今井
- 9日 近臨技理事会
今井、運天、荒木、東野
- 10日 理事会
今井、運天、竹浦、吉本、大垣、清水、
荒木、田畑、井戸田、出野、山田、宮野、
酒井、栗本、山西、小宮山、東野、村上
- 12日 北支部自由集会
田畑、栗本、出野
- 15日 医療関連サービスマク制度調査指導
運天、荒木
- 15日 学術部会
高田、山西、宮野
- 16日 総務・会計部会
運天、吉本、荒木、山田
- 17日 地区事業部会
田畑、栗本、出野
- 17日 情報組織部会
運天、井戸田、酒井、山西、
- 19日 検査運営研修会
今井、運天、井戸田、田畑、酒井
- 21日 常務理事会
今井、運天、竹浦、吉本、荒木
- 22日 渉外部会
清水、大垣
- 26日 大臨技OBとの談話会
今井、運天、竹浦、吉本、高田、東野

II 経過報告

- 1. 日臨技
 - 12月5日に会長選挙結果および副会長選挙結果について報告があった。会長には高田鉄也氏、副会長には米坂知昭氏および小沼利光氏が当選した。
 - 12月14日に日臨技より平成22・23年度各種委員会委員(役員推薦委員と選挙管理委員)の選出協力依頼があった。

2. 近臨技

- 12月9日に近臨技会長会議および理事会が開催された。
- 12月12日に第50回近畿医学検査学会シンポジウム打ち合わせ会議が開催された。

3. 公益法人移行委員会

- 12月21日に委員会を開催した。
公益社団法人移行に向けた大阪府提出用資料作成状況の確認をした。
移行に向けて検討が必要な問題点の確認をした。
 - ① 学術部の定例勉強会における公益・公益性については指摘を受けた。
 - ② 公益社団法人移行に当たって、会の組織図、定款、役員名簿、理事会議事録、大臨技ニュース、決算書の公開が必要である。
 - ③ 会員と非会員の参加費格差について指摘を受けたため、当会として妥当な範囲について検討することとした。

4. 事務局

- 〈総務部〉
12月16日に部会を開催した。
 - 大臨技総会について検討した。
 - 大臨技ニュース掲載規程案について討議した。
 - 大臨技ニュース12月号を発行した。
 - 大臨技ホームページを更新した。
- 〈会計部〉
12月16日に部会を開催した。
 - 11月度収支決算書を作成した。
 - 日臨技へ11月分会費の送金を行った。
- 〈渉外部〉
12月22日に部会を開催した。
 - 手話講演会の反省を行った。
 - 合同フォーラム運営について説明を行った。
 - 第32回献血推進活動について内容を検討した。
 - 日臨技公益委託事業について説明を行った。
 - 来年度事業について検討した。

5. 事業局

- 〈情報組織部〉
12月17日に部会を開催した。
 - 4月～12月までの情報組織部主催事業の反省と残事業の確認を行った。
 - 次年度情報組織部主催事業の抱負を話し合った。
 - 〈地区事業部〉
12月17日に部会を開催した。
 - 3月20日開催の施設連絡者会について話し合った。
内容については、
 - ① 大臨技報告は内視鏡の立ち上げについて出野理事に依頼
 - ② 日臨技報告を森嶋地区理事に依頼
 - ③ 「H22年度保険点数改定を踏まえて」について松尾氏(シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス)に講師を依頼した。
 - 12月5日中央支部自由集會に88名が参加した。
 - 12月12日北支部自由集會に85名が参加した。
- 〈学術部〉
12月15日に部会を開催した。
 - 大臨技理事会および近臨技学術部会の報告をした。
 - 3月6日開催予定の第2回学術部講演会の内容について検討した。
テーマは「臨床を理解する」

III 他、報告

- 1. 大臨技平成22・23年度役員改選進捗報告(運天副会長)

- 1月14日現在、役員立候補なし。
 - 現在の新理事候補者は、杉山氏、増田氏、新監事候補者は、山中俊郎 税理士、栗本誠一氏（日本医学術）である。
 - 1月14日現在、一般会員からの役員立候補はなく、理事推薦に杉山昌晃氏（市立岸和田市民病院）と増田詩織氏（近畿大学附属病院）、監事推薦には山中俊郎 税理士と栗本誠一氏（JML）推薦された。
2. その他
- 12月26日に開催された第20回日本臨床化学会近畿支部総会に320名が参加した。

IV 議題

1. 大臨技予算総会について（吉本常務理事）
- 総会案内状および委任状の印刷を1月15日に依頼し、大臨技ニュース2月号と一緒に送付する。
 - 予算総会の受付は、地区事業部が担当する。
 - 第1議長は片山智永子氏（㈱大阪血清微生物研究所）、第2議長は杉山昌晃氏（市立岸和田市民病院）に委嘱し、委嘱状および3月理事会への出席依頼を送付することとした。
 - 情報組織部世話人より、資格審査委員兼議事運営委員3名、議事録署名人2名を選出し2月の理事会までに吉本常務理事に連絡をするよう依頼した。
 - 議事録署名人には印鑑証明書の用意をお願いする。予算総会に関して大臨技ニュース3月号に掲載する。
 - 日臨技総会代理人は現在のところ定数3名だが、3月31日時点での正会員数が3,000名を越えれば定員数が1名増え4名となる。この場合、吉本常務理事が選出されることとなった。
 - 大臨技永年会員表彰の代表者を江川和美氏（大阪府立成人病センター）とした。
 - 2月理事会にて平成21年度 第2回定期総会（平成22年度予算総会）の最終確認をする。
2. 大臨技ニュース掲載規約案について（吉本常務理事）
- 12月理事会提案の「大臨技ニュース掲載」が承認されたため、平成22年1月14日を制定日とした。大臨技ホームページへの掲載を、栗本理事に依頼をした。
3. 次年度事業計画と予算案（荒木理事）
- 予算案資料に基づき説明をした。
- （支出の部2）において
- 学術部新規事業開催で増。
 - 名簿作成に伴う費用の増。
 - 情報組織部会の検査運営・職域部会名を組織調査費に変更した。
 - 渉外部、地区事業部に関しては日臨技補助金を含めた予算を提示しているが、入金がない場合部会費の返金を願う。
 - 地区事業部の施設連絡者会議の会場費の増。
 - 各種委員会で新規事業としての内視鏡部会費を含み増。
 - 予備費は、他の支出が増額なので減額としている。
4. 平成22・23年度大阪市臨床検査精度管理専門委員の推薦（今井会長）
- 大阪市から標記委員の推薦依頼があった。大臨技より留任4名に加え新任者2名として大阪市から女性委員が望ましいとの要請があり、微生物分野および病理分野から野村ちづる氏（住友病院）および宇津野美弥子氏（南大阪病院）を推薦することとした。
5. 小島三郎記念技術賞の推薦について（今井会長）
- 大臨技より宮野理事を推薦することとした。

6. その他
- 日臨技の役員推薦委員として運天副会長を推薦することとした。
 - 萬栄カードの申込書を全会員に対し2月に再度送付する。
 - 第2回定期総会（平成22年度予算総会）終了後に、世話人との交流会を行うこととした。
 - 大臨技顧問の位置づけについての話し合いを行った。前会長が顧問となりアドバイスとサポートをお願いすることとした。
 - 日臨技連盟について質問があった。